

学 校 だ よ り

平成28年11月1日



11月号

NO. 332

横浜市立茅ヶ崎小学校
校長 岩本 悦子

学びをつなぐ

校庭の桜の木が、色付き始めました。5年生が稲刈りを終えた稲穂が学校のフェンスに掛けられています。しみじみと秋を感じる、今日この頃です。

さて、第28回茅ヶ崎小学校の運動会は、やや肌寒い天候でしたが、「28」「にこにこはりきって、運動会をもりあげよう。」のテーマのもと、10月22日に開催いたしました。日頃の学習で身に付けた力と技と心意気を十分に発揮したすばらしい競技と演技でした。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様に御来校頂き、温かい応援と御協力を頂きましたことを、お礼申し上げます。また、今年度は、生活科や総合的な学習の時間でご支援・ご指導くださいました地域の方々も、多数ご参加くださいましたことも大変うれしい出来事のひとつです。運動会をご覧いただいた地域の方がお帰りの際、「高学年の子どもたちは、低学年の子どもたちに、こまめに気を配っていますね。」「子どもたちが一生懸命に応援する姿に感動しました。」という温かいお言葉を頂きました。



児童会で話し合い、今年のテーマやマスコットを決め、その実現に向け、約2ヶ月間に渡り、全児童が競技や演技や応援の練習を重ねました。運動会という学校行事は、小学校学習指導要領解説において、実施に至るまでの過程が大切であることや、学校の特色や伝統を生かすことも大切であることが記されています。6年生の子どもたちは、「ソーラン茅ヶ崎は、これからも続けてほしい」と語っていました。

子どもたちの一生懸命な姿はたくさんの方々感動を届けることができました。子どもたちは、自信をもち満足感を味わうことができました。今年度は「リオ五輪」が開催され、すばらしい国際選手の競技や演技をみることで、子どもの心に影響を与えていたように感じています。

10月13日(木)に第66回横浜市立小学校体育大会が開催され、6年生が参加しました。その際、リオ五輪の三段飛びに出場された長谷川大悟さんが来場され、実際に三段飛びを披露してくださるとともに、4年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けての話をしてくださいました。長谷川大悟さんは横浜の出身です。小学生の頃は、陸上運動に関心がなく、学校の代表選手ではなかったそうです。その後、友達に誘われたことをきっかけに、陸上運動に取り組まれたそうです。

私は、このお話を聞き、「子どもたちは、まだ自分が気付いていないすばらしい才能や技能を秘め、図り知れない可能性をもっている。」と感じました。様々な学びをつなぎながら、自分自身の長所や才能に気づき、「よさ」を語るができる子どもたちになってほしいと思いました。